

拝啓 日ごとに寒さが増してまいります。インフルエンザも新型・季節性の両方が流行しているようで、まだまだ気を許すことが出来ないようです。

さて、本年最初の「VOICE」をお届け致します。私たちの体験・経験をお伝えすることで、少しでも皆様のお役に立てるものがあればと思っております。どうぞご覧下さいませ。

本年も皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。

敬具



遊園地の思い出は「受付のお姉さん」



これはある遊園地で勤務している友人、A子さんの体験談です。
ある日、A子さん宛に一通の封書が事務所に届きました。差出人は全く知らない名前。「誰だろう?」と思いつつ、帰宅してからその封書を開けてみると数枚の写真と手紙が入っていました。
手紙には子供の字で『今までで一番楽しかったです。お姉さんありがとう。』と書かれていました。同封された写真は、アトラクションの入り口で、ある家族と一緒にA子さんが写っている写真でした。その写真には、とても嬉しそうな笑顔で写っているご両親とお子様、そしてその隣に笑顔で写っているA子さんが。

そのご家族には見覚えがありました。2ヶ月に1度は来場される、常連のご家族でした。「登場キャラクターの服を着て写真撮影できる」という催しで案内係をしていた時、一緒に写真に写って欲しいと言われたのです。

この手紙にA子さんは大変感動し、涙を流しながらお礼の返事を書きました。そして、この写真は、その家族とA子さんにとって大切な物となりました。

実はA子さん、仕事を辞めてしまおうかと何度も悩む事がありました。しかし、この写真を見るたび「私をこんなにも大事にしてくれる人が居る。まだまだ頑張れる。」と、頑張る力になるのです。

封書を頂いてから1年以上たっても、その家族はまた来場されるのでした。

黒津 紘幸



編集後記

12月までの暖冬はどこへやら・・・西日本や日本海沿岸で被害をもたらした大寒波に、今月は体調を崩された方も多かったのではないのでしょうか。

消費面での冷え込みもますます進み、低価格路線は激化の一途をたどっておりますが、その中でも気持ちのこもったサービスが行き届いているお店には、いつも活気があふれています。世相が厳しい今、ぬくもりを与えられるかどうかは鍵となっているように感じます。

自由欄:ご意見・感想なんでもお書きください。なお、次回からメールでの配信をご希望の方は、必ずご返信くださいませ。メール希望:御社名